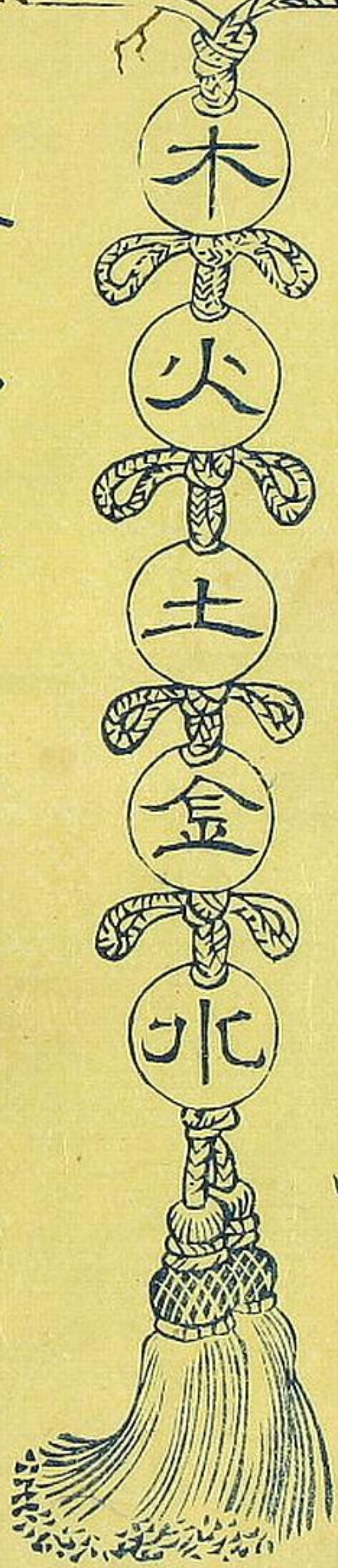




理解
新文
五穀祭



万亭應賀著
惺々曉齋画

仙鶴堂梓

萬物
五穀祭
凶凶



五穀祭の由は人の命の親なることと由土がかりに
生は土がかりなる由人を作らねば生は土がかり
て由水がかりなる由生は水がかりなる由金がかり
れば金がかりなる由釜がかりなる由火がかりなる由
飯は土がかりなる由火がかりなる由
是がかりに造化する大がかりなる由人の細工
と云ふがひまをその為口序天よりくといふ
申春 万亭應賀誌

理解新文

とくじりの林

をのなること

あふりの

稲をの今有

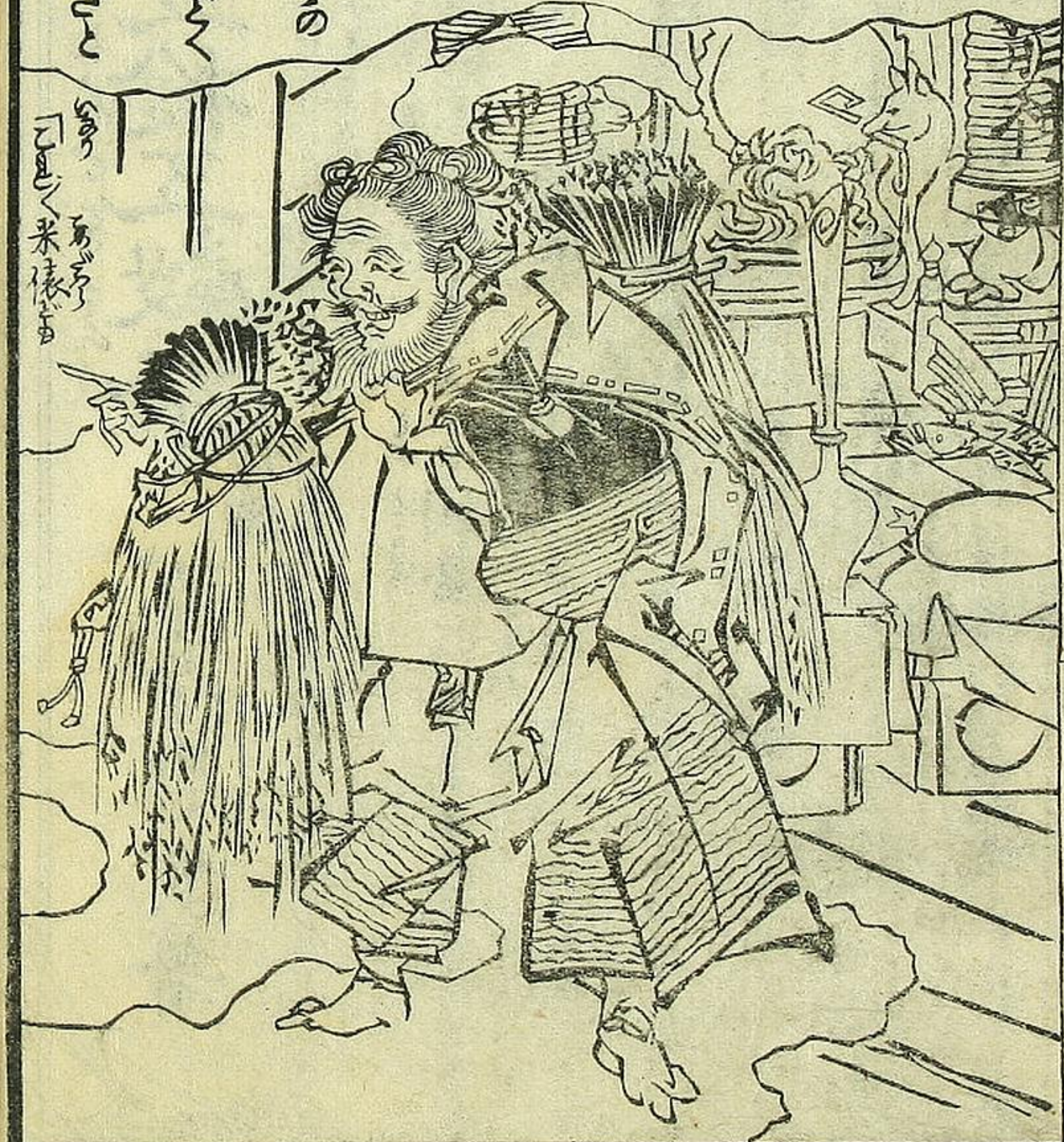
よきか

夜よとしてまゑく

の依おととあ

地にあふんあいの

かきかしの



けい

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あまのついで
あひんか



とらひて人るの
又跡と迷う作がら
由人そのあふりし
かゝるのうらうらと



大己貴尊の百穀
耕農の神ありあは
和州三輪大明神

日本紀云
保食神



のうちあのかつむひの
依へ首とよはと
つけてやらうら
「それのあがた
こと心とど由
依へ首やよは
のうちあのかつむひ

身より五穀の種を生
天照大神あはととらひ
もひて天邑君と
のつて始て
天杖田
長田
あはのついで

あまのついで



せんとうまはとつ
 てやるとなを儀が
 ひとり心にいられる
 せんどう一歩り死
 由へ船取車力
 のとみれ者か
 ひあがる林の人の
 るんどうあるま
 せぬ由人そ
 あらぬま

これひまの
 赤き糸と
 りの
 じ

▲ト
 ころ
 ころ
 ころ
 ころ
 ころ



ま
 ころくよとら
 その度と
 あふんそ
 ころふと
 のころの儀
 又大力の命
 儀のころふと
 男女いのちろん

「あれが
 ころの
 ころの
 ころの
 ころの
 ころの」

これか
 ころの
 ころの

ころの
 ころの
 ころの
 ころの
 ころの

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、



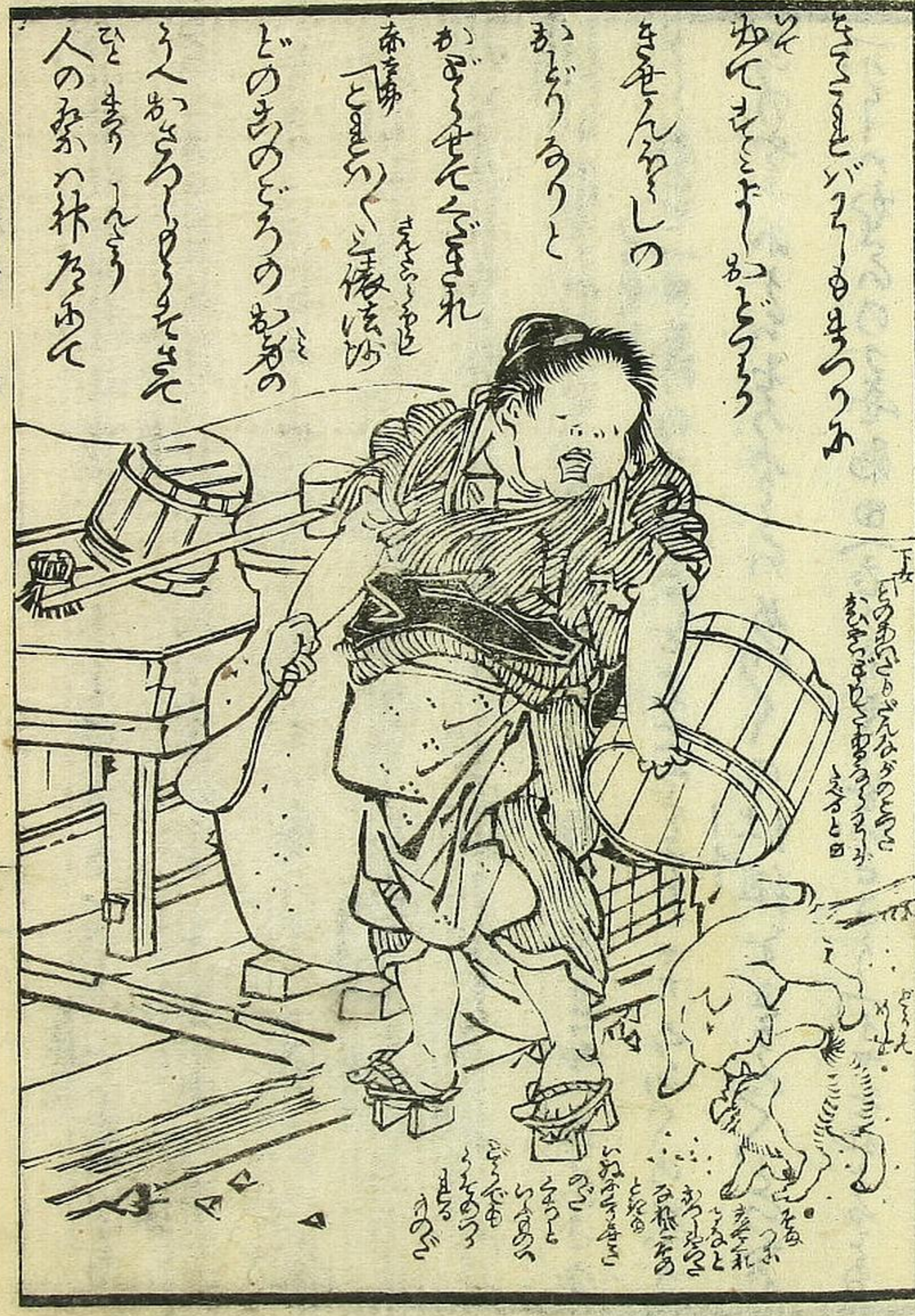
十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、



十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

さしつかへなくばつてはなす
 天子せがむは御供でんけつが
 ぎんぐさんどのごう権者が
 へらそん田畑かへりてをん
 ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん
 ちんえん ちんえん ちんえん



本指奇大明神

上あつていふまゝのまゝのまゝ
 さてさういふまゝのまゝのまゝ
 らげらげらげらげらげらげら
 ちよとがまゝのまゝのまゝ
 赤き糸のまゝのまゝのまゝ
 とさういふまゝのまゝのまゝ
 外の方でもまゝのまゝのまゝ
 まゝのまゝのまゝのまゝ



とさういふまゝのまゝのまゝ
 らげらげらげらげらげらげら
 ちよとがまゝのまゝのまゝ
 赤き糸のまゝのまゝのまゝ
 とさういふまゝのまゝのまゝ
 外の方でもまゝのまゝのまゝ
 まゝのまゝのまゝのまゝ



わらうあるわらうとらぬもせあひてぬゆへりもさうぞ人のあ
 をむらひさくあり入をそちのあふまうりてひとをさつとえ
 とらふいま新地のあつとをさんときらうかきつらわうし
 まの年の初年あかざねえうむまあのみあさうぢぢ
 りの穢あひを兼むんあぞゆえあはるほどえんりく
 仕組をわがてらさびあつとるの初年あを新津の老伝のう
 ちまうかきつらわうさうかきつらわうさうかきつらわう
 うまよしとらぬもせあひてぬゆへりもさうぞ人のあ
 又はうらうて穢あひを兼むんあぞゆえあはるほどえんりく

さぬのあふらうあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 あまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 穢のけしとらぬもせあひてぬゆへりもさうぞ人のあ
 いまあひのあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 をさるるあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 ていあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 まらあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 さいのうらあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 あまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま

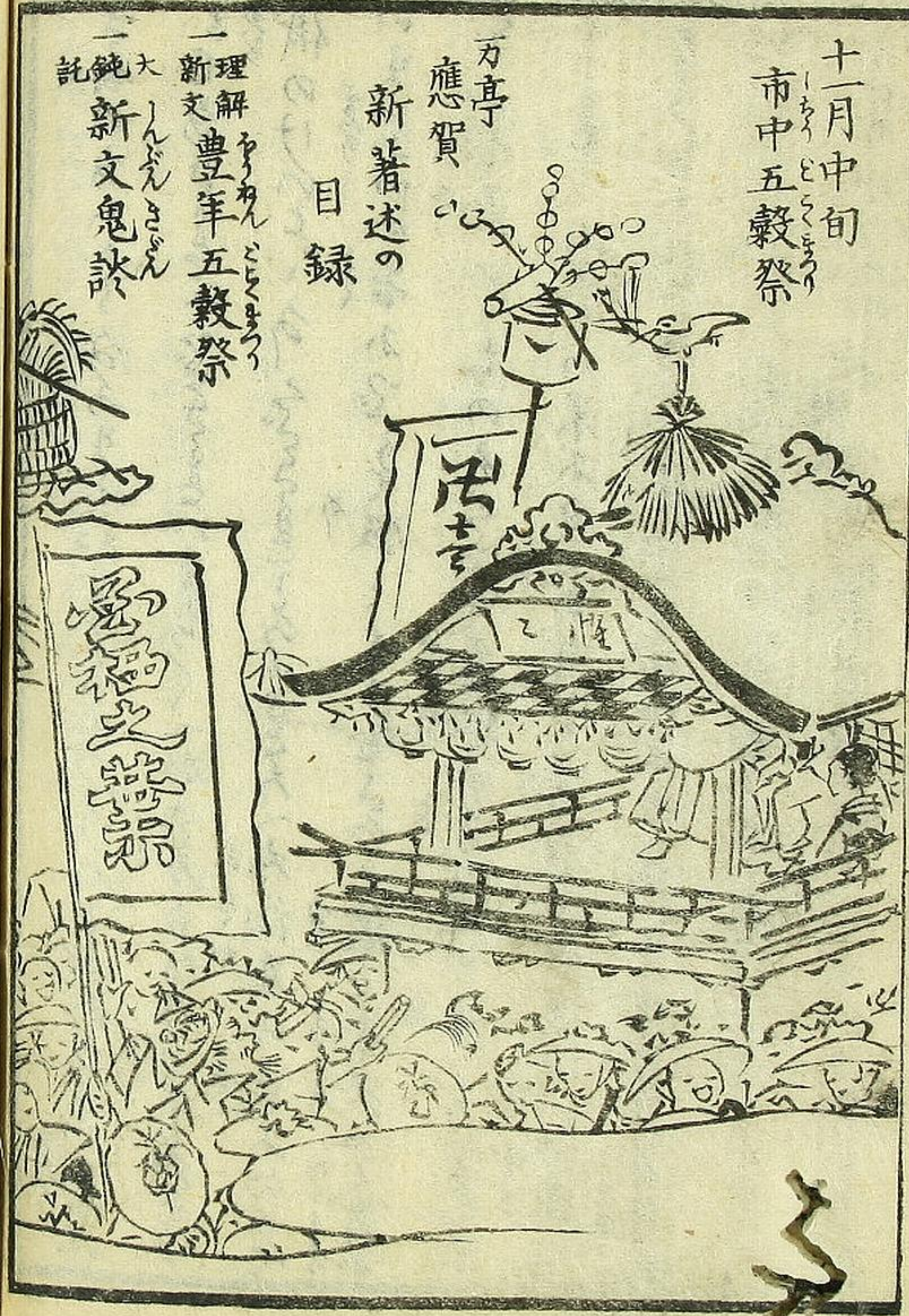
理解新文初

十一月中旬
市中五穀祭

万亭
應賀

新著述の
目錄

- 一 理解 豊年五穀祭
- 一 新文 豊年五穀祭
- 一 純新文 鬼談



一 賢愚 聖人肝潰志

一 和談 三才對會

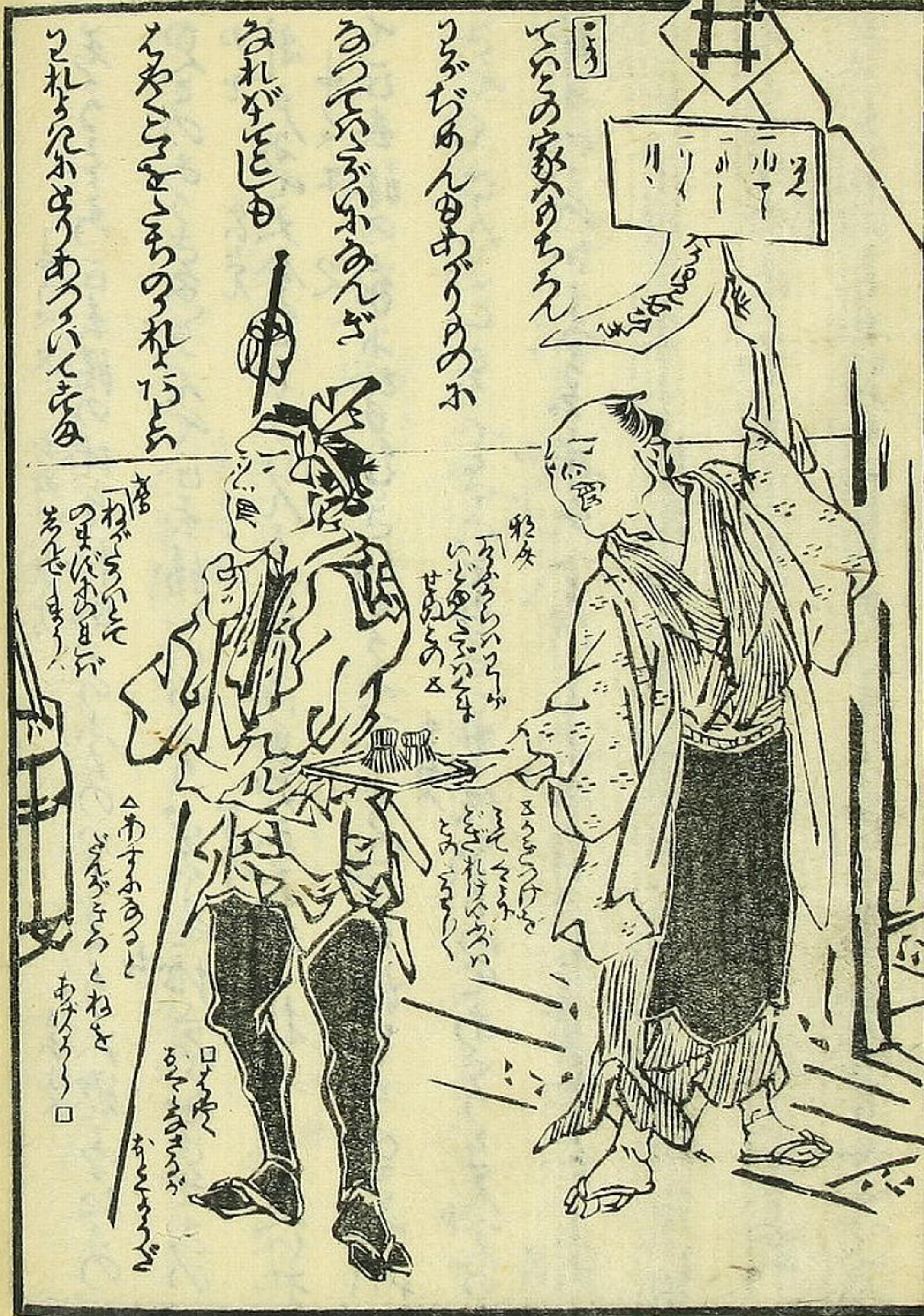
一 七福 寶積替

一 造化 天心錄



Sumerian wamas summes phis riss swausy kige of phary phary
545
 1) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 2) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 3) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 4) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 5) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考

Sumerian wamas summes phis riss swausy kige of phary phary
545
 1) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 2) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 3) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 4) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考
 5) 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考 地理新考



五穀祭文

五月五日
 五穀祭
 初号終
 二編と編ひきつゝ世極は
 本堂并々えとくやねたとてき
 入物出物系々々々々々
 五月五日
 五穀祭
 初号終

明治五年申年

五月新刻

東京書林 小林喜右衛門梓

010190523018

